

(様式第 9)

長大総第 4 9 5 号  
平成 2 4 年 1 0 月 4 日

九州厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人  
長崎大学長 片峰

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 4 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	86.0 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	280人	256人	530.1人	看護補助者	71人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	99人	73人	170.8人	理学療法士	17人	臨床検査技師	56人
薬剤師	45人	0人	45.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	その他	4人
助産師	28人	0人	28.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	791人	14人	801.5人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	3人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	11人	4人	15.0人	歯科技工士	5人	事務職員	232人
管理栄養士	6人	7人	13.0人	診療放射線技師	36人	その他の職員	46人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	709人	19人	728人
1日当たり平均外来患者数	1,250人	450人	1,700人
1日当たり平均調剤数			2,605 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





## (様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	血管奇形に対するエコーガイド下硬化療法	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要 エコーガイド下に切除不能や進行する血管奇形症例に対してアルコールなどにより硬化療法を行う治療法です。			
医療技術名	歯科用金属アレルギー患者に対する包括的歯科医療	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 歯科用金属アレルギー患者に対する歯科治療を検査から、アレルギー材料の置換処置など顎口腔機能改善を包括して行う			
医療技術名	顎欠損補綴治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 顎欠損を有する患者に対して、顎口腔機能回復のための補綴装置の提供を行う			
医療技術名	残存聴力活用型人工内耳挿入術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 全身麻酔下で耳後部を切開し、側頭骨を削開、蝸牛を開窓し、電極アレイを挿入、固定する手法にて行う。手術手法自体は、電極挿入の手法が異なる以外は、既に保険診療下で実施されている通常の人工内耳挿入術とほぼ同様であるが、通常の人工内耳と比較し、蝸牛の回転軸に沿った方向から電極を挿入するround windowアプローチを用いることで、低音部			
医療技術名	進行性尿路癌患者における低用量gemcitabin+paclitaxice療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 初回化学療法が無効であった進行性尿路癌患者に対する低用量gemcitabin+paclitaxice療法を用いた新たな集学的治療の構築			
医療技術名	難治性間質性膀胱炎に対するヘパリン-リドカイン膀胱内注入療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 既存の治療法では症状の改善を得られない重度の間質性膀胱炎患者に対して、ヘパリン-リドカイン混合液を膀胱内に注入し、症状の改善を図る治療			
医療技術名	超音波ガイド下神経ブロックによる術後鎮痛	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要 従来のランドマーク法、通電刺激法を用いた神経ブロックではその効果の確実性、安全性、手技の容易さなどに問題があったが、超音波ガイド下に神経、ブロック針、周囲の組織、局所麻酔薬の拡がりを確認することによって、これらの問題点が克服された。神経ブロックは、侵害刺激の遮断により術後のオピオイド必要量を減らし、嘔気・嘔吐を主とする周術期合併症を減らし、手術後の早期回復、患者の満足度の向上に大きく貢献する。			
医療技術名	エコーガイド下気管支鏡検査を用いて得られた肺癌検体を用いた個別化治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 エコーガイド下(EBUS-GS)気管支鏡検査を用いて肺癌患者から組織検体をリアルタイムで採取する。その検体のDNA解析(EGFR遺伝子変異の有無)およびメッセンジャーRNA解析(ERCC1とEML4-ALK)を行い、抗癌剤の感受性を予測して肺癌患者に対して個別に適切な抗癌剤を選択投与する。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	53人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	44人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	81人	・原発性胆汁性肝硬変	57人
・全身性エリテマトーデス	243人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	58人
・再生不良性貧血	37人	・混合性結合組織病	59人
・サルコイドーシス	118人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	9人	・特発性間質性肺炎	24人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	228人	・網膜色素変性症	14人
・特発性血小板減少性紫斑病	69人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	43人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	145人	・神経線維腫症	31人
・大動脈炎症候群	37人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	10人
・脊髄小脳変性症	26人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	104人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	29人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	60人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・後縦靭帯骨化症	50人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	60人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ管筋腫症(LAM)	6人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	59人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	11人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	65人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・インプラント義歯	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3種類の検討会を毎月開催
部 検 の 状 況	部検症例数 27例 / 部検率 9.9%



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
頸動脈プラークの不安定性の診断と安定化の試み	永田 泉	脳神経外科	1,430,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
頸部頸動脈狭窄症のプラークにおけるIDOの役割と病態の解明	陶山 一彦	脳神経外科	1,300,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高血圧ラットにおける血管原性脳浮腫の研究	林 健太郎	脳神経外科	1,950,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳梗塞における幹細胞移植療法の効率的効果向上を目指した時期特異性、領域特異性の解明	堀江 信貴	脳神経外科	1,300,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
神経膠芽腫の獲得薬剤耐性に関するmiR-195の機能解析	氏福 健太	脳神経外科	1,820,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳梗塞に対する血管内治療を用いた神経再生療法ー内在性修復メカニズムの解明及び効率性を考慮した再生医療の可能性ー	堀江 信貴	脳神経外科	1,000,000円	補委 ライフサイエンス振興財団
献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究	秋田 定伯	形成外科	800,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
難治性血管腫・血管奇形についての調査研究	秋田 定伯	形成外科	700,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
HIV HCV重複感染血友病患者の長期療養に関する患者参加型研究	秋田 定伯	形成外科	5,000,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
間葉系幹細胞と発生学を考慮した頭蓋顔面再生	秋田 定伯	形成外科	17,420,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
国際放射線障害治療拠点形成に向けて	秋田 定伯	形成外科	18,720,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト脂肪由来幹細胞の障害肺、移植肺への実用化を目指す、肺生着、臓器保護の研究	秋田 定伯	形成外科	5,460,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
ファイブロサイト及び関連幹細胞による皮弁生着・延長、創傷治癒の新規治療法の開発	吉本 浩	形成外科	5,070,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
放射線腸炎に対する自家脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた再生治療	吉本 浩	形成外科	5,070,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
CTで発見される肺結節の判定基準と経過観察に関する研究ー日本CT検診学会ガイドラインの有用性の検討ー	芦澤 和人	がん診療センター	2,400,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
画像に基づく非侵襲的大腿骨近位部のジオメトリーと骨力学特性の研究	伊東 昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	2,080,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
生体活性物質による治癒促進機能を有する高耐久性含フッ素粘膜調整材の開発	村田 比呂司	義歯補綴治療室	10,700,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎骨由来幹細胞を用いた歯槽骨再生医療の展開	西村 正宏	義歯補綴治療室	3,600,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯肉中幹細胞による簡便な歯槽骨再生への挑戦	西村 正宏	義歯補綴治療室	1,300,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金
なぜ顎筋のストレッチ療法は慢性疼痛に聞くのか？ー顎筋粘弾性の検討ー	鳥巢 哲朗	義歯補綴治療室	800,000円	補委 文部科学省科学研究費補助金

金属アレルギーによる難治性皮膚疾患と口腔内金属修復物との因果関係について	寺野 元博	義歯補綴治療室	300,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
インプラント患者の咬合力調節機構—歯根膜とオッセオパーセプションの役割—	田中 美保子	義歯補綴治療室	2,500,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
治癒促進剤を経時的に徐放する新しいティッシュコンディショナーの開発	黒木 唯文	義歯補綴治療室	500,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
遺伝子解析による間葉系幹細胞の骨分化能評価法の開発	末廣 文雄	義歯補綴治療室	2,400,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
新しい人工内耳(EAS)に関する基礎的・臨床的研究	高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	900,000円	補委	厚生労働省科学研究費補助金
新規分子標的治療法による歯周病菌の増殖抑制とその抗菌周病薬としての可能性の追求	星野 倫範	小児歯科	500,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯質を変色させない乳歯齲食進行抑制法としてのフッ化ジアミンシリケートの有効性	細矢 由美子	小児歯科	600,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
DGGE法を用いた感染性心内膜炎の原因となる口腔フローラの網羅的解析	西口 美由季	小児歯科	700,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
アロジエニンの骨形成に関与する新規受容体の特定	小西 郁理	小児歯科	700,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
成長軟骨細胞が産生する分泌性蛋白質および膜蛋白質による軟骨細胞分化機構の解明	日高 聖	小児歯科	900,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
嚥下障害を有する児童の口腔細菌叢の解析と最新の分類法による誤嚥性肺炎原因菌の同定	佐藤 恭子	小児歯科	900,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポルフィロモナスジンジバリスの新規病原因子Tapが病態形成に及ぼす影響	近藤 好夫	小児歯科	1,090,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯原性間葉細胞の分化制御機構についての研究	藤原 卓	小児歯科	1,600,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯原性間葉細胞の分化制御機構についての研究	釜崎 陽子	小児歯科	2,500,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科検診およびその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小児歯科	353,000円	補委	佐世保市
口腔外傷の発生動向にかかる研究	藤原 卓	小児歯科	1,000,000円	補委	独立行政法人科学技術振興機構
歯髄幹細胞を用いた象牙質・歯髄再生医療によるウ蝕・歯髄疾患等のための治療技術の開発	林 善彦	虫歯治療室	1,000,000円	補委	厚生労働省科学研究費補助金
歯髄、根尖性歯周組織疾患に対するヒトiPS細胞を使った再生療法の開発	林 善彦	虫歯治療室	7,800,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
整理活性物質の細胞内移行及び細胞・核内分布動態のナノテクニメーjing解析	林 善彦	虫歯治療室	800,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
iPS細胞由来歯髄幹細胞の均質化大量増幅による歯髄象牙質再生療法の実現化	池田 毅	虫歯治療室	2,400,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
細胞親和性を担持させたセラミックスと海洋性コラーゲンを用いた歯科治療の新規開発	池田 香	虫歯治療室	1,000,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金



新しい嚥下リハビリ手技“蕎麦嚙り様訓練”の評価	小山 善哉	虫歯治療室	2,500,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
天然生理活性ペプチド画分の前骨芽細胞系におけるコラーゲン翻訳後修飾制御の解析	山田 志津香	虫歯治療室	2,600,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
前立腺癌におけるFESの臨床病理学的意義の網羅的検討	宮田 康好	泌尿器科	1,500,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
自然炎症を基盤とした前立腺癌の進展におけるミッドカインの役割解析	井川 掌	泌尿器科	1,800,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌におけるアノイクシ抵抗性獲得因子の網羅的解析と予後予測や治療標的としての検討	大庭 康司郎	泌尿器科	1,800,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植のための組織構築	酒井 英樹	泌尿器科	1,000,000円	補委	厚生労働省科学研究費補助金
進行癌患者における在宅医療ネットワークを活用した外来化学療法と終末期医療の融合システムの構築	宮田 康好	泌尿器科	330,000円	補委	(財)在宅医療助成勇美記念財団
救命センターにおける「先制攻撃的感染予防策」の効果に関する研究	田崎 修	救命救急センター	5,200,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
侵襲時再生治療に関する研究:血管内細胞移植の確立	小倉 裕司	救命救急センター	1,300,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
敗血症・多臓器不全における内在性乾細胞機能障害の解析と細胞移植再生治療の開発	松本 直也	救命救急センター	130,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
細胞老化および関連病態における虚血心保護戦略	澄川 耕二	麻酔科	1,300,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
ストレス誘導性コンディショニングの探索:高炭酸ガス血症の効果	原 哲也	麻酔科	1,400,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
非アルコール性脂肪肝炎に対する麻酔薬の肝虚血保護法の検討:糖尿病薬との相互作用	趙 成三	麻酔科	1,400,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
腎虚血再灌流障害に対する水素の腎保護効果とその分子生物学的機序の解明	三好 宏	麻酔科	900,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
蘇生後症候群におけるRho-kinaseの役割解明	吉富 修	麻酔科	800,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
オピオイドおよびカンナビノイドと二量体化受容体の相互作用の分子機構の解明	北條 美能留	麻酔科	1,300,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
敗血症における微小循環の病態解明:腸管血流と舌下血流の関連性	関野 元裕	麻酔科	700,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
気道過敏性に対する麻酔薬の作用解析—強制オシレーション法を用いて	西岡 健治	麻酔科	700,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
グルタレドキシンの酸化還元制御と心筋細胞における抗アポトーシス効果の解析	稲富 千亜紀	麻酔科	1,100,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
強心薬による薬理的ポストコンディショニング法の開発と分子機序の解明	東島 潮	麻酔科	1,500,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金

レミフェンタニル急性耐性形成の分子メカニズム解析	高田 正史	麻酔科	1,100,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
心筋の虚血再灌流障害における強心薬の効果的な投与開始のタイミングと機序の解明	柴田 伊津子	麻酔科	800,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
$\mu$ - $\delta$ オピオイド受容体複合体を介したレミフェンタニルによる鎮痛メカニズムの解明	村田 寛明	麻酔科	900,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
糖尿病ラットでの薬理的ポストコンディショニング法の開発と分子機序の解明	一ノ宮 大雅	麻酔科	900,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
ブタ希釈性凝固障害モデルにおけるROTEMガイド下凝固管理法の開発	前川 拓治	麻酔科	1,500,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
周術期使用薬剤と心筋プレコンディショニングの相互作用に関する検討	松本 周平	麻酔科	1,600,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金
水チャンネル・アクアポリンの血管新生眼疾患への関与	北岡 隆	眼科	1,040,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管安定化因子制御による糖尿病黄斑浮腫の治療法開発	鈴間 潔	眼科	1,430,000円	補委	独立行政法人日本学術振興会

計 8

合計 69

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術及び評価の実績

### 1 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Immunology	Differences in the humoral autoreactivity to zinc transporter 8 between childhood- and adult-onset type 1 diabetes in Japanese patients.	Kawasaki E	第一内科
Arthritis Care & Research	Comparative study of the detection of joint injury in early-stage rheumatoid arthritis by magnetic resonance imaging of the wrist and finger joints and physical examination.	Tamai M	第一内科
Autoimmunity	Distinct role of T helper Type 17 immune response for Graves' hyperthyroidism in mice with different genetic backgrounds.	Horie I	第一内科
Clinical & Experimental Immunology	B cell-targeted therapy with anti-CD20 monoclonal antibody in a mouse model of Graves' hyperthyroidism.	Ueki I	第一内科
Neuroscience Letters	A CLCN1 mutation in dominant myotonia congenita impairs the increment of chloride conductance during repetitive depolarization.	Tsujino A	第一内科
Rheumatology	The power Doppler ultrasonography score from 24 synovial sites or 6 simplified synovial sites, including the metacarpophalangeal joints, reflects the clinical disease activity and level of serum biomarkers in patients with rheumatoid arthritis.	Kawashiri SY	第一内科
Modern Rheumatology	Reduction in serum levels of substance P in patients with rheumatoid arthritis by etanercept, a tumor necrosis factor inhibitor.	Origuchi T	第一内科
Modern Rheumatology	Contribution of an adenine to guanine single nucleotide polymorphism of the matrix metalloproteinase-13 (MMP-13) -77 promoter region to the production of anticyclic citrullinated peptide antibodies in patients with HLA-DRB1*shared epitope-negative rheumatoid arthritis.	Iwamoto N	第一内科
Rheumatology	A Japanese case of familial Mediterranean fever presenting diffuse bone marrow uptake of FDG-PET and high levels of neutrophil membrane CD64 expression.	Koga T	第一内科
Journal of Endocrinology	Interleukin 10 deficiency attenuates induction of anti-TSH receptor antibodies and hyperthyroidism in a mouse Graves' model.	Ueki I	第一内科
Journal of the Neurological Sciences	Characteristics of myasthenia gravis according to onset-age: Japanese nationwide survey.	Murai H	第一内科
Modern Rheumatology	Disease activity score 28 may overestimate the remission induction of rheumatoid arthritis patients treated with tocilizumab: comparison with the remission by the clinical disease activity index.	Kawashiri SY	第一内科
Modern Rheumatology	In rheumatoid arthritis patients treated with tocilizumab, the rate of clinical disease activity index (CDAI) remission at 24 weeks is superior in those with higher titers of IgM-rheumatoid factor at baseline.	Kawashiri SY	第一内科
Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry	Early detection of sporadic CJD by diffusion-weighted MRI before the onset of symptoms.	Satoh K	第一内科
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	Proteasome assembly defect due to a proteasome subunit beta type 8 (PSMB8) mutation causes the autoinflammatory disorder, Nakajo-Nishimura syndrome.	Arima K	第一内科
Thyroid	Graves' disease complicated by ventricular fibrillation in three men who were smokers.	Ando T	第一内科
Clinical and Experimental Rheumatology	Soluble urokinase plasminogen activator receptor as a useful biomarker to predict the response to adalimumab in patients with rheumatoid arthritis in a Japanese population.	Koga T	第一内科

Modern Rheumatology	Increased incidence of pre-diabetes mellitus at a department of rheumatology: a retrospective study.	Origuchi T	第一内科
Modern Rheumatology	Successful treatment of a patient with IgG4-related disease with a paravertebral mass lesion.	Nakamura H	第一内科
Thyroid	Risk for progression to overt hypothyroidism in an elderly Japanese population with subclinical hypothyroidism.	Imaizumi M	第一内科
Endocrinology	Induction of autoimmune thyroiditis by depletion of CD4+CD25+ regulatory T cells in thyroiditis-resistant IL-17, but not interferon-gamma receptor, knockout nonobese diabetic-H2h4 mice.	Horie I	第一内科
Clinical and Experimental Rheumatology	Post-transcriptional regulation of IL-6 production by Zc3h12a in fibroblast-like synovial cells.	Koga T	第一内科
Modern Rheumatology	Efficacy of adalimumab for a refractory case of relapsing polychondritis with reduction of pro-inflammatory cytokines.	Nakamura H	第一内科
Modern Rheumatology	A case of Sjögren syndrome with pulmonary amyloidosis complicating microscopic polyangiitis.	Kawashiri SY	第一内科
Clinical and Experimental Rheumatology	Magnetic resonance imaging of wrist and finger joints distinguishes secondary Sjögren's syndrome with rheumatoid arthritis from primary Sjögren's syndrome with articular manifestations.	Iwamoto N	第一内科
The Journal of Rheumatology	CD4+CD25(high)CD127(low/-) Treg cell frequency from peripheral blood correlates with disease activity in patients with rheumatoid arthritis.	Kawashiri SY	第一内科
Rheumatology International	Successful treatment of sepsis-induced disseminated intravascular coagulation in a patient with idiopathic thrombocytopenic purpura using recombinant human soluble thrombomodulin.	Koga T	第一内科
Rheumatology International	Effects of the anti-interleukin-6 receptor antibody, tocilizumab, on serum lipid levels in patients with rheumatoid arthritis.	Kawashiri SY	第一内科
Medical Mycology	Clinical efficacy and safety of micafungin in Japanese patients with chronic pulmonary aspergillosis: a prospective observational study.	Kohno S	第二内科
Japanese Journal of Infectious Diseases	Eosinophilic pneumonia due to visceral larva migrans possibly caused by <i>Ascaris suum</i> : a case report and review of recent literatures.	Izumikawa K	第二内科
Internal Medicine	A case of concurrent sarcoidosis, aortitis syndrome and Crohn's disease.	Izumikawa K	第二内科
FEMS Yeast Research	The glycosylphosphatidylinositol-linked aspartyl protease Yps1 is transcriptionally regulated by the calcineurin-Crz1 and Slt2 MAPK pathways in <i>Candida glabrata</i> .	Miyazaki T	第二内科
FEMS Yeast Research	Functional characterization of the regulators of calcineurin in <i>Candida glabrata</i> .	Miyazaki T	第二内科
Japanese Journal of Infectious Diseases	Evaluation of the Cica Fungi Test <i>Candida</i> , a novel serum <i>Candida</i> mannan antigen kit, and its comparison with <i>Cand-Tec</i> in candidemia patients.	Takazono T	第二内科
The Tohoku Journal of Experimental Medicine	Clinical characteristics of seven patients with <i>Aeromonas</i> septicemia in a Japanese hospital.	Morinaga Y	第二内科
The Tohoku Journal of Experimental Medicine	Clinical features of bacteremia caused by methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> in a tertiary hospital.	Yamada K	第二内科
Japanese Journal of Infectious Diseases	Increase of apoptosis in a murine model for severe pneumococcal pneumonia during Influenza A virus infection.	Kosai K	第二内科
Letters in Applied Microbiology	<i>Lactobacillus pentosus</i> strain b240 suppresses pneumonia induced by <i>Streptococcus pneumoniae</i> in mice.	Tanaka A	第二内科

The Journal of Clinical Investigation	Synergistic stimulation of type I interferons during influenza virus coinfection promotes <i>Streptococcus pneumoniae</i> colonization in mice.	Nakamura S	第二内科
PLoS Pathogens	Molecular basis of increased serum resistance among pulmonary isolates of non-typeable <i>Haemophilus influenzae</i> .	Nakamura S	第二内科
Journal of Infection and Chemotherapy	Characteristics and disease severity of healthcare-associated pneumonia among patients in a hospital in Kitakyushu, Japan.	Seki M	第二内科
International Archives of Allergy and Immunology	Effect of respiratory syncytial virus infection on plasmacytoid dendritic cell regulation of allergic airway inflammation.	Tsuchida T	第二内科
Muscle & Nerve	A case of acute sarcoid myositis treated with weekly low-dose methotrexate.	Fujita H	第二内科
Respiration	Effects of doxycycline on production of growth factors and matrix metalloproteinases in pulmonary fibrosis.	Fujita H	第二内科
European Journal of Pharmacology	Anti-inflammatory effects of garenoxacin on IL-8 production and ERK1/2 activation induced by lipopolysaccharides in A549 and THP-1 cells.	Hara S	第二内科
Respiration	Direct hemoperfusion using immobilized polymyxin B in patients with rapidly progressive interstitial pneumonias: a retrospective study.	Hara S	第二内科
Journal of Thoracic Oncology	Randomized phase II trial of irinotecan with paclitaxel or gemcitabine for non-small cell lung cancer: association of UGT1A1*6 and UGT1A1*27 with severe neutropenia.	Nakamura Y	第二内科
Cancer Chemotherapy and Pharmacology	Serum levels of surfactant protein D predict the anti-tumor activity of gefitinib in patients with advanced non-small cell lung cancer.	Yamaguchi H	第二内科
Clinical Nephrology	Glomerulocystic kidney disease in an adult with enlarged kidneys: a case report and review of literature.	Obata Y	第二内科
Acta Histochemica et Cytochemica	Thalidomide prevents the progression of peritoneal fibrosis in mice.	Arai H	第二内科
International Journal of Cancer	MicroRNA signatures in <i>Helicobacter pylori</i> -infected gastric mucosa.	Matsushima K	消化器内科
Experimental and Therapeutic Medicine	Prevalence of type 2 diabetes mellitus in Japanese patients with hepatocellular carcinoma.	Taura N	消化器内科
Medical Science Monitor	The incidence of hepatocellular carcinoma associated with hepatitis C infection decreased in Kyushu area.	Taura N	消化器内科
Journal of Translational Medicine	MiRNA-205 modulates cellular invasion and migration via regulating zinc finger E-box binding homeobox 2 expression in esophageal squamous cell carcinoma cells.	Matsushima K	消化器内科
Digestive Diseases and Sciences	<i>Helicobacter pylori</i> VacA reduces the cellular expression of STAT3 and pro-survival Bcl-2 family proteins, Bcl-2 and Bcl-XL, leading to apoptosis in gastric epithelial cells.	Matsumoto A	消化器内科
Digestion	Effect of oral prednisolone on esophageal stricture after complete circular endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma: a case report.	Yamaguchi N	消化器内科
BMC Gastroenterology	Management of esophageal stricture after complete circular endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Isomoto H	消化器内科
Endoscopy	Intestinal mantle cell lymphoma observed by double-balloon endoscopy with Fuji Intelligent Chromo Endoscopy.	Norimura D	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy	Usefulness of oral prednisolone in the treatment of esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Yamaguchi N	消化器内科

Internal Medicine	Predictive value of the fibrosis scores in patients with chronic hepatitis C associated with liver fibrosis and metabolic syndrome.	Miyaaki H	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy	Case series of duodenal follicular lymphoma, observed by magnified endoscopy with narrow-band imaging.	Norimura D	消化器内科
Transplant Infectious Disease	Successful pegylated interferon alpha2a monotherapy for hepatitis C virus infection in a transplanted patient who relapsed after the preceding course.	Ichikawa T	消化器内科
Clinical Journal of Gastroenterology	Imaging of focal nodular hyperplastic-like nodules in alcoholic liver cirrhosis patients using gadolinium-ethoxybenzyl-diethylenetriamine pentaacetic acid magnetic resonance imaging.	Miyaaki H	消化器内科
Digestive Diseases and Sciences	Magnifying chromoendoscopic findings of early gastric cancer and gastric adenoma.	Ohnita K	消化器内科
Oncology Letters	Clinical characteristics of hepatocellular carcinoma in elderly patients.	Honda T	消化器内科
Cancer Science	Response of subtype-specific human breast cancer-derived cells to poly(ADP-ribose) polymerase and checkpoint kinase 1 inhibition.	Shibata H	消化器内科
Hepatology Research	Suppressor of cytokine signal 3 and IL28 genetic variation predict the viral response to peginterferon and ribavirin.	Miyaaki H	消化器内科
Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques	Analysis of the tumor color patterns of early esophageal cancer using an autofluorescence imaging video endoscopy.	Norimura D	消化器内科
Internal Medicine	Takotsubo cardiomyopathy in a patient with severe hyponatremia associated with syndrome of inappropriate antidiuretic hormone.	Kawano H	循環器内科
Circulation Journal	Low glomerular filtration rate is associated with high prevalence of vasospastic angina.	Koga S	循環器内科
Psychiatry and Clinical Neurosciences	A case of undiagnosed catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia presenting with ventricular fibrillation after administration of succinylcholine during anesthesia for modified electroconvulsive therapy.	Kubo T	精神科神経科
PLoS ONE	Identification of novel schizophrenia loci by homozygosity mapping using DNA microarray analysis.	Kurotaki N	精神科神経科
European Respiratory Journal	Surfactant protein C G100S mutation causes familial pulmonary fibrosis in Japanese kindred.	Ono S	精神科神経科
Psychiatry and Clinical Neurosciences	Three cases of schizophrenia showing improvement after switching to blonanserin.	Kurotaki N	精神科神経科
Movement Disorders	Mutation and copy number analysis in paroxysmal kinesigenic dyskinesia families.	Ono S	精神科神経科
European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	Assessment and follow-up of intercostal nerve damage after video-assisted thoracic surgery.	Miyazaki T	第一外科
Surgery Today	Intraductal papillary growth of liver metastasis originating from colon carcinoma in the bile duct: Report of a case.	Nanashima A	第一外科
Journal of Surgical Oncology	Usefulness of sonazoid-ultrasonography during hepatectomy in patients with liver tumors: A preliminary study.	Nanashima A	第一外科
Surgery Today	Left hepatectomy accompanied by a resection of the whole caudate lobe using the dorsally fixed liver-hanging maneuver.	Nanashima A	第一外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Reducing the incidence of post-hepatectomy hepatic complications by preoperatively applying parameters predictive of liver function.	Nanashima A	第一外科
The American Journal of Surgery	Distal gastrectomy for advanced gastric cancer with vascular anomaly after coronary bypass grafting using the right gastroepiploic artery.	Kunizaki M	第一外科



Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Spontaneous hemothorax associated with von Recklinghausen's disease: report of a case.	Miyazaki T	第一外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Advantages of laserphyrin compared with photofrin in photodynamic therapy for bile duct carcinoma.	Nonaka T	第一外科
The Breast Journal	Intracystic papillary carcinoma of breast harbors significant genomic alteration compared with intracystic papilloma: Genome-wide copy number and LOH analysis using high-density single-nucleotide polymorphism microarrays.	Oikawa M	第一外科
Journal of Surgical Research	Prediction of indocyanine green retention rate at 15 minutes by correlated liver function parameters before hepatectomy.	Nanashima A	第一外科
Journal of Surgical Oncology	Prognosis of patients with hepatocellular carcinoma after hepatic resection: Are elderly patients suitable for surgery?	Nanashima A	第一外科
Digestive Diseases and Sciences	Tumor marker levels before and after curative treatment of hepatocellular carcinoma as predictors of patient survival.	Nanashima A	第一外科
Anticancer Research	Perioperative Non-tumorous Factors Associated with Survival in HCC Patients Who Underwent Hepatectomy.	Nanashima A	第一外科
Radiation Oncology	Significance of Genomic Instability in Breast Cancer in Atomic Bomb Survivors: Analysis of Microarray-Comparative Genomic Hybridization.	Oikawa M	第一外科
British Journal of Surgery	Recurrence-free survival more than 10 years after liver resection for hepatocellular carcinoma.	Eguchi S	第二外科
Surgery	Elective living donor liver transplantation by hybrid hand-assisted laparoscopic surgery and short upper midline laparotomy.	Eguchi S	第二外科
Surgery Today	Liver transplantation for patients with human immunodeficiency virus and hepatitis C virus coinfection with special reference to hemophilic recipients in Japan.	Eguchi S	第二外科
Digestive Diseases and Sciences	Lack of grafted liver rejuvenation in adult-to-pediatric liver transplantation.	Eguchi S	第二外科
The American Journal of Surgery	Perioperative synbiotic treatment to prevent infectious complications in patients after elective living donor liver transplantation : a prospective randomized study.	Eguchi S	第二外科
Clinical Transplantation	Honoring the contract with our patients: outcome after repeated re-transplantation of the liver.	Eguchi S	第二外科
Hepatology Research	Living-donor liver transplantation from second generation children for atomic bomb survivors.	Eguchi S	第二外科
Hepato-Gastroenterology	Is Preservation of Middle Hepatic Vein Tributaries during Right Hemi-Hepatectomy Beneficial for Live Donor Liver Transplantation?	Eguchi S	第二外科
Surgery Today	Hemophagocytic syndrome after liver transplantation: report of two cases.	Soyama A	第二外科
Surgery Today	Living donor liver transplantation with extensive caval thrombectomy for acute-on-chronic Budd-Chiari syndrome.	Soyama A	第二外科
Digestive Surgery	Tumor thrombectomy via a surgically reopened umbilical vein combined with right hemihepatectomy in a patient with hepatocellular carcinoma.	Soyama A	第二外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	Significance of serum $\beta$ -D-glucan levels in recipients of living donor liver transplantation.	Yamanouchi K	第二外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	Technical refinements of bile duct division in living donor liver surgery.	Takatsuki M	第二外科

Pancreas	Stenting Versus Non-Stenting in Pancreaticojejunostomy: A Prospective Study Limited to a Normal Pancreas Without Fibrosis Sorted by Using Dynamic MRI.	Kuroki T	第二外科
Hepato-Gastroenterology	Marionette method for transumbilical single-incision, two-trocar laparoscopic cholecystectomy: A new, simple technique.	Kuroki T	第二外科
Hepato-Gastroenterology	Single-incision laparoscopic distal pancreatectomy.	Kuroki T	第二外科
Hepato-Gastroenterology	A Non-Randomized Comparative Study of Laparoscopy-Assisted Pancreaticoduodenectomy and Open Pancreaticoduodenectomy.	Kuroki T	第二外科
Surgery Today	Hand-assisted laparoscopic total pancreatectomy for a main duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	Kitasato A	第二外科
Breast Cancer	Parenchymal leiomyoma of the breast: a case report with special reference to magnetic resonance imaging findings and an update review of literature.	Minami S	第二外科
Cytokine	Primary human bone marrow adipocytes support TNF- $\alpha$ -induced osteoclast differentiation and function through RANKL expression.	Goto H	整形外科
Biomedical Research	Human bone marrow adipocytes support dexamethasone-induced osteoclast differentiation and function through RANKL expression.	Goto H	整形外科
Osteoarthritis and Cartilage	In vivo structural analysis of subchondral trabecular bone in osteoarthritis of the hip using multi-detector row CT.	Chiba K	整形外科
Clinical and Experimental Dermatology	Rhizomucor variabilis infection in human cutaneous mucormycosis.	Tomita H	皮膚科
Clinical Rheumatology	Increasing levels of serum antioxidant status, total antioxidant power, in systemic sclerosis.	Ogawa F	皮膚科
Anticancer Research	Clinical significance and predictive value of prostaglandin E2 receptor(EPR)I-4 in patients with renal cell carcinoma.	Ohba K	泌尿器科
Anticancer Research	Response of recurrent urachal cancer to gemcitabine and cisplatin therapy: A case report and literature review.	Miyata Y	泌尿器科
Urology	Pathological significance and prognostic value of phosphorylated cortactin expression in patients with sarcomatoid renal cell carcinoma.	Matsuo T	泌尿器科
Anticancer Research	Effect of maintenance chemotherapy with gemcitabine and Paclitaxel on recurrent squamous cell carcinoma of the bladder: a case report.	Miyata Y	泌尿器科
PLoS ONE	Infection of XC cells by MLVs and Ebola virus is endosome-dependent but acidification-independent.	Kamiyama H	泌尿器科
Retina, the Journal of Retinal and Vitreous Diseases	Transcorneal Three-port Vitrectomy Without Conjunctival Incision.	Matsumoto M	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Conjunctival swabs and corneoscleral rim cultures from corneal transplantation donors as possible early indicators for posttransplant endophthalmitis.	Matsumoto M	眼科
Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics	Polyoxyethylene hydrogenated castor oil modulates benzalkonium chloride toxicity: comparison of acute corneal barrier dysfunction induced by travoprost Z and travoprost.	Uematsu M	眼科
Clinical Ophthalmology	Retro-mode imaging of fibrovascular membrane in proliferative diabetic retinopathy after intravitreal bevacizumab injection.	Suzuma K	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Comparing central retinal thickness in diabetic macular edema measured by two different spectral-domain optical coherence tomography devices.	Suzuma K	眼科
Otolaryngology - Head and Neck Surgery	Influence of Effortful Swallow on Pharyngeal Pressure: Evaluation Using a High-Resolution Manometry.	Takasaki K	耳鼻咽喉科

Hearing Research	Distribution of glucocorticoid receptors and 11 beta-hydroxysteroid dehydrogenase isoforms in the rat inner ear.	Terakado M	耳鼻咽喉科
The Annals of Thoracic Surgery	Tracheal Reconstruction Using S-Shaped Skin Flaps and a Conchal Cartilage Graft.	Kaneko K	耳鼻咽喉科
Journal of Craniofacial Surgery	Cavernous Hemangioma of the Accessory Parotid Gland.	Kaneko K	耳鼻咽喉科
European Journal of Radiology	Quantification of lung perfusion blood volume (lung PBV) by dual-energy CT in patients with and without pulmonary embolism: preliminary results.	Sueyoshi E	放射線科
Journal of Human Genetics	Clinical application of fetal sex determination using cell-free fetal DNA in pregnant carriers of X-linked genetic disorders.	Miura K	産科婦人科
Fertility and Sterility	Endometrioma as a possible cause of reduced ovarian reserve in women with endometriosis.	Kitajima M	産科婦人科
Journal of Human Genetics	Epidemiology of human papillomavirus genotypes in pregnant Japanese women.	Yamasaki K	産科婦人科
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Pre-vaccination epidemiology of human papillomavirus infections in Japanese women with abnormal cytology.	Yamasaki K	産科婦人科
Journal of Cardiovascular Pharmacology and Therapeutics	Roles of cyclooxygenase 2 in sevoflurane- and olprinone-induced early phase of preconditioning and postconditioning against myocardial infarction in rat hearts.	Tosaka S	麻酔科
Cardiovascular Diabetology	High-dose fasudil preserves postconditioning against myocardial infarction under hyperglycemia in rats: role of mitochondrial KATP channels.	Ichinomiya T	麻酔科
Anaesthesia and Intensive Care Journal	A new technique for post-pyloric feeding tube placement by palpation in lean critically ill patients.	Sekino M	麻酔科
Cardiovascular Diabetology	Hyperglycemia raises the threshold of levosimendan- but not milrinone-induced postconditioning in rat hearts.	Matsumoto S	麻酔科
Journal of Anesthesia	Effects of neostigmine on bronchoconstriction with continuous electrical stimulation in rats.	Ishii K	麻酔科
Neurologia medico-chirurgica	Traumatic carotid cavernous fistula complicated with intracerebral hemorrhage: Case report.	Hayashi K	脳神経外科
Pediatric Neurosurgery	Clinical features and long-term follow-up of quasi-moyamoya disease in children.	Hayashi K	脳神経外科
Brain Tumor Pathology	A case of multinodular high-grade neuroepithelial tumor with ependymal differentiation.	Kamada K	脳神経外科
Acta neurochirurgica	Cerebellar variant of posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) after coil embolization for the hemorrhagic dissecting aneurysm.	Horie N	脳神経外科
Acta neurochirurgica	Restenosis after endovascular PTA/stenting for supra-aortic branches in Takayasu aortitis: report of three cases and review of the literature.	Horie N	脳神経外科
American Journal of Neuroradiology	"Brush Sign" on susceptibility-weighted MR imaging indicates the severity of moyamoya disease.	Horie N	脳神経外科
Stem Cells	Transplanted stem cell-secreted vascular endothelial growth factor effects poststroke recovery, inflammation, and vascular repair.	Horie N	脳神経外科
Journal of Neuroscience Methods	Long-term behavioral assessment of function in an experimental model for ischemic stroke.	Horie N	脳神経外科
Journal of Neurosurgery	Detection of blood blister-like aneurysm and intramural hematoma with high-resolution magnetic resonance imaging.	Horie N	脳神経外科

Leukemia	LBH589, a deacetylase inhibitor, induces apoptosis in adult T-cell leukemia/lymphoma cells via activation of a novel RAIDD-caspase-2 pathway.	Hasegawa H	検査部
Japanese Journal of Infectious Diseases	Increase of Apoptosis in a Murine Model for Severe Pneumococcal Pneumonia during Influenza A Virus Infection.	Kosai K	検査部
Haematologica	Overexpression of enhancer of zeste homolog 2 with trimethylation of lysine 27 on histone H3 in adult T-cell leukemia/lymphoma as a target for epigenetic therapy.	Sasaki D	検査部
Pulmonary Pharmacology and Therapeutics	In vivo efficacy of KRP-109, a novel elastase inhibitor, in a murine model of severe pneumococcal pneumonia.	Yamada K	検査部
Leukemia & Lymphoma	Aberrant overexpression of membrane-associated mucin contributes to tumor progression in adult T-cell leukemia/lymphoma cells.	Hasegawa H	検査部
Internal Medicine	Early effects of smoking cessation and weight gain on plasma adiponectin levels and insulin resistance.	Inoue K	総合診療科
Journal of Anesthesia	An artery other than the carotid artery immediately posterior to the internal jugular vein detected by ultrasound.	Murata H	手術部
Regional Anesthesia and Pain Medicine	A venous structure anterior to the brachial plexus in the supraclavicular region.	Murata H	手術部
Regional Anesthesia and Pain Medicine	Atypical "corner pocket" for ultrasound-guided supraclavicular block.	Murata H	手術部
Anesthesiology	Levosimendan- but not milrinone- induced postconditioning is dependent on cyclooxygenase-2 in rat hearts.	Higashijima U	集中治療部
Anesthesiology	Continuous Electrical Stimulation with Low Frequency of Cholinergic Nerves Causes Bronchoconstriction in Rats.	Ishii K	集中治療部
Surgery Today	Adenosquamous carcinoma arising in a thyroglossal duct cyst: Report of a case.	Kinoshita N	病理部
Oncology Reports	Expression of angiopoietin-like 4 (ANGPTL4) in human colorectal cancer: ANGPTL4 promotes venous invasion and distant metastasis.	Nakayama T	病理部
Clinical Immunology	Differences in the humoral autoreactivity to zinc transporter 8 between childhood- and adult-onset type 1 diabetes in Japanese patients.	Kawasaki E	生活習慣予防診療部
Bone	Effect of eldcalcitol, an active vitamin D analog, on hip structure and biomechanical properties: 3D assessment by clinical CT.	Ito M	メディカル・ワークライフ・バランスセンター
Bone	Age-related changes in bone density, geometry and biomechanical properties of the proximal femur: CT-based 3D hip structure analysis in normal postmenopausal women.	Ito M	メディカル・ワークライフ・バランスセンター
Journal of Bone and Mineral Metabolism	Recent progress in bone imaging for osteoporosis research.	Ito M	メディカル・ワークライフ・バランスセンター
Stem Cells and Development	Impact of Zinc Fingers and Homeoboxes 3 on the Regulation of Mesenchymal Stem Cell Osteogenic Differentiation.	Suehiro F	義歯補綴治療室
The Journal of Adhesive Dentistry	Influence of NaOCl irrigation and water storage on the degradation and microstructure of the resin/primary dentin interface.	Hosoya Y	小児歯科
The Journal of the American Dental Association	Effects of polishing on surface roughness, gloss and color of surface reaction type pre-reacted glass-ionomer filled resin composite.	Hosoya Y	小児歯科
Journal of Oral Science	Effects of polishing on surface roughness, gloss, and color of resin composites.	Hosoya Y	小児歯科
Journal of Dentistry	Effect of acidulated phosphate fluoride gel application on surface roughness, gloss and color of different type resin composites.	Hosoya Y	小児歯科

Clin Vaccine Immunol	Novel Epitopic region of Glucosyltransferase B from Streptococcus mutans.	Hoshino T	小児歯科
International Journal of Paediatric Dentistry	Establishment of Streptococcus mutans in infants induces decrease in the proportion of salivary.	Hoshino T	小児歯科
Molecular Oral Microbiology	Streptococcus anginosus L-cysteine desulhydrase gene expression is associated with abscess formation in BALB/c mice.	Hoshino T	小児歯科
PLoS ONE	Por secretion system-dependent secretion and glycosylation of Porphyromonas gingivalis hemin-binding protein 35.	Kondo Y	小児歯科
Journal of Endodontics	Surface changes of mineral trioxide aggregate after the application of bleaching agents: Electron microscopy and an energy dispersive X-ray microanalysis.	Tsujimoto M	虫歯治療室
Microscopy Research and Technique	Zinc as an essential trace element in the acceleration of matrix vesicles-mediated mineral deposition.	Kawakubo A	虫歯治療室
Dental Materials Journal	Factors associated with the longevity of resin composite restorations.	Kubo S	虫歯治療室

計 11

合計 175

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 河野 茂
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 将孝 薬剤部長 佐々木 均 総務課長 大西 文昭 医事課長 横山 哲也

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科	病院日誌は総務課、処方せんは薬剤部、エックス線写真は放射線部、その他は各診療科で保存	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課、医事課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
第規一則号第一に掲げる十一項の各号及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課		
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課		
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課		
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課		
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課		



		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一	院内感染のための指針の策定状況	感染制御教育センター、総務課
	第一一条の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御教育センター、総務課
	第一一条の十一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御教育センター、総務課
	第一項各号及び第九條の二十三	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御教育センター
	第一項各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の二十三	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の二十三	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
	第一項各号及び第九條の二十三	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
第一項各号及び第九條の二十三	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
第一項各号及び第九條の二十三	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
・ 指針の主な内容： ○医療安全管理に関する基本的考え方 ○医療事故防止委員会及びその他の組織に関する基本的事項 ○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ○医療事故発生時の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ○患者等からの相談への対応に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 3 6 回
・ 活動の主な内容： ○医療事故防止委員会 (月 1 回開催) ・ 院内インシデント・アクシデント報告等情報収集 ・ 医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進 ・ 医療事故防止のための教育及び研修等の決定 ○安全管理部会 (月 1 回開催) ・ 安全管理に関する事項の報告 ○リスクマネージャー会議・インシデント・アクシデントレポートの分析の報告 (月 1 回開催)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：別紙のとおり	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	☑ ( 3 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☑ ( 7 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	☑・無
・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 1 3 ) 名 ・ 活動の主な内容： ○医療事故防止委員会の運営支援、○インシデントレポートの分析、○リスクマネージャーとの連絡調整、○安全管理に関する教育・研修、○安全管理に関する情報の収集、○事故等に関する確認と指導	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	☑・無

(様式第 13-2)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：1) 病院感染対策に関する基本的な考え方 2) 院内感染対策委員会等の設置 3) 職員研修 a) 目的 b) 対象と頻度 c) 参加記録の方法と参加率向上策 4) 病院感染への対応 a) 「感染情報レポート」と発生状況の報告 b) 異常発生時の対応 5) 感染対策マニュアル 6) 患者への指針についての情報提供と説明 7) その他の病院における院内感染対策の推進方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：8月を除く毎月、病院長他各部門の責任者をメンバーとして開催している。院内感染の発生状況の報告(薬剤耐性菌(<i>Acinetobacter</i>を含む)の検出状況、手指衛生の実施状況、抗菌薬の使用状況、針刺しの発生状況など)、院内感染の発生状況の解析結果と対応策、マニュアル・感染防止に関連した運用方法の改訂、公開院内ラウンド報告と開催案内、従業員への研修会の開催と内容・参加状況などについて報告・討議を行っている。</p>	
③ 従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：全職種を対象に年3回(各内容をそれぞれ2~3回と複数回開催するため、合計8-9回)開催し、研修者については総務課において記録し参加状況を把握し、参加が少ない部署については感染対策委員会や診療科長等会議で報告し参加率向上を図っている。 研修内容は1回は外部講師による院内感染についての講義(ビデオ撮影し、参加できなかった職員にはビデオ講習を実施)、2回は当院における感染対策指針やマニュアルの周知、問題となっている感染症や感染防止策についての講習を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 当院では感染対策の専門部署として感染制御教育センターを設置して、感染対策に積極的に取り組んでいる。 検査部からは平日は毎日微生物の検出状況(耐性菌・無菌検体からの微生物検出状況、迅速微生物検査・遺伝子検査の検査結果)がICTのコアとなる感染制御教育センターの朝の会議に報告され、その報告を元に毎日関連部署の院内ラウンドを行っている。また、薬剤部からは抗菌薬の使用状況が毎週まとめられて同会議に報告され、これをもとに抗菌薬の適正使用についての調査と、不適正使用例に対する指導を行っている。このほか看護部、診療科、総務課などから院内感染に関連した情報が迅速に報告され、これに基づいて院内感染防止策を策定し改善指導を行っている。また、院内感染の発生状況や行政からの感染症流行状況についても院内への周知を計っている。</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	④・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
・ 研修の主な内容： ヨード造影剤とピグアナイド系糖尿病薬との併用注意について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( ④・無 ) ・ 業務の主な内容： ・ 病棟救急カート薬剤の定期的な数量および使用期限の確認 ・ 医薬品の採用・購入について薬事審議委員会での審議、採用薬の定期的なチェック ・ ハイリスク薬について薬剤部・病棟などで管理手順を作り、チェックリストによる定期的なチェック	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ④・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 院内で発生した副作用情報の収集と院内周知、厚労省への報告 ・ 緊急安全性情報の処方医への周知徹底 ・ 医薬品の安全性に関する情報の全職員への周知 ・ 厚労省・製薬会社からの安全性情報の管理と院内周知 ・ 薬剤管理指導時に主治医へ安全性情報提供 ・ 電子カルテへの相互作用等の情報入力によるチェックシステム構築	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 6 回
・ 研修の主な内容：閉鎖式保育器、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、人工心肺装置及び補助循環装置、診療用放射線照射装置、診療用高エネルギー放射線発生装置、輸液・シリンジポンプ、生体情報モニタに対する基本操作、トラブルシューティングなどの研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( ☑・無 ) ・ 保守点検の主な内容：各機器メーカー推奨の期間または、動作時間毎に性能・機能点検、消耗部品の交換、調整を実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容：日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、日本臨床工学技士会などから関連情報を収集し、イントラネット掲示板、ME機器センターHP、メーリングリストなどを活用し院内職員への周知を実施している。	

③医療に係る安全管理のための職員研修会の開催状況【年9回】

【研修の主な内容】

全職員対象（4回実施）

1. 医療安全推進週間 第1回安全管理研修会（計1,726名）

（1）開催日：平成23年5月24日

（2）研修内容：

- ①自殺予防マニュアルについて
- ②抗がん剤薬取り扱い標準化に向けての取組み
- ③麻薬運用マニュアルについて

2. 第2回安全管理研修会（計1,785名）

（1）開催日：平成23年8月10日

（2）研修内容：

- ①MR検査におけるリスクマネジメント
- ②個人情報等の適正管理について
- ③中心静脈カテーテル挿入・管理に伴う合併症と注意点

3. 第3回安全管理研修会（計1,857名）

（1）開催日：平成23年10月27日

（2）研修内容：

- ①ペンローズドレーンの挿入から抜去までの手順のその後
- ②肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症 予防マニュアルについて
- ③当院の医療安全について－医療安全研修会アンケート結果を受けて－

4. 第4回安全管理研修会（計1,838名）

（1）開催日：平成23年12月8日

（2）研修内容：

- ①当院の顧問弁護士より～現場からの質問に対する回答等～

新採用者・他職種合同（5回実施）

1. 平成23年度新採用者・他職種合同KYT研修会（計228名）

（1）開催日：

- ① 平成23年8月18日（52名）
- ② 平成23年8月26日（49名）
- ③ 平成23年9月14日（47名）
- ④ 平成23年9月16日（48名）
- ⑤ 平成23年9月22日（32名）

（2）研修内容：KYT研修会（グループワーク）

④医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

【その他の改善のための方策の主な内容】

- 医療事故防止対策マニュアルの改訂
- インシデントレポート報告システムの改良
- 安全管理部部員等による院内巡視
- 医療安全ポケットマニュアルの改訂
- 安全管理部カンファレンス（週1回実施）